

消防だより 火の用心

Tokamachi Fire Department



平成29年12月5日

特集

救急通報から搬送まで

今号では、救急という一大事にどうすれば良いのかを順を追ってお伝えし、その後の搬送について紹介します。



救急事例

突然 お父さんが
胸を押え苦しみました！



まず…
落ち着いて
ください。

通信指令員が
次のことを
お聞きします。

119 番通報の仕方

119 番通報



火災・救急は、最寄りの分署へ
連絡せず、直接119番するよ
うお願いします。

① 救急車が向かう場所

「十日町市〇町〇番地の消防太郎です。」
住所・電話番号・世帯主名・目標物など

② 意識の状態

「〇歳の父が急に胸を痛がっています。」
何歳の誰がどのような状態か、会話可能かどうか
などを質問します。

③ 病歴・かかりつけの病院

④ 通報者のお名前 など

はい、119 番
十日町地域消防署です。
火事ですか？
救急ですか？

「**救急です**」

と教えてください。

▼救急車を呼ぶか迷った時は？

救急車を呼ぶ目安に！
症状の緊急度を素早く判定！

総務省消防庁「Q助」案内サイト
https://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_6/kyukyu_app.html



「全国版救急受信アプリ」
も活用してください

次ページへ



救急搬送 適切な病院選定

救急業務は以前と
変わってきています！



救急隊の任務は、以前の搬送中心の業務から、「救命救急業務」へと変わっています。

救急隊は、まず傷病者の状態をよく観察し、必要な処置を行います。そして重要なのが「適切な病院を選定」して搬送することです。例えば、傷病者の状態を素早く正確に把握し、必要があれば近くの病院ではなく、根本的な治療が行える病院へと搬送します。

救急現場では、新潟県が定めた基準※に基づき、病態ごとに適切な病院を選定しています（下記図参照）。

あわせて救急隊は、病院選定と同時にドクターヘリの活用も視野に、空と陸の両方の経路を検討し、搬送先を決定します。

常に傷病者の救命を最優先に、必要により医師の助言を受けながら、最善の処置や搬送などを総合的に判断した救急搬送に努めています。

救急隊は、こんな病態に注目し病院を選定しています

特殊性	専門性	緊急性
精神疾患	重症度 緊急度の高い 小児	重症 中等症 外傷疑い
	重症度 緊急度の高い 妊産婦	心筋梗塞 疑い
		脳卒中 疑い
		重篤
別基準あり	魚沼基幹病院 十日町病院	魚沼基幹病院 十日町病院
※新潟県傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準より抜粋 (隣接医療機関は魚沼基幹病院のみ表記)	魚沼基幹病院 十日町病院	魚沼基幹病院 十日町病院
		津南病院 松代病院 上村病院
		松代病院 上村病院

期待の翼 長岡ドクターヘリ

？ ドクターヘリって
実際どんな時に来るの？

新潟県では、平成24年10月から新潟ドクターヘリの運用が始まり、平成29年3月29日、県内2機目となる長岡ドクターヘリの運航が開始されました。

十日町地域管内までは、所要時間わずか15分程度で到着できるようにになりました。山間地域が多い当地域にとって、道路状況に左右されずに直線距離を時速200キロメートルで飛行するドクターヘリは、医師と看護師を最速で傷病者のもとへ届ける方法といえます。

119番通報を受けた時点で、生命の危険がある場合や救急現場で早期救急診療が必要と思われる場合に、即座に気象や地理的状況を判断し、ドクターヘリを要請しています。

ドクターヘリの医師が、救急現場などで傷病者に早く関わり処置を開始することで救命につながり、また後遺症等の軽減が図られることが期待されています。



救急車ここです！

救急現場



救急隊は傷病者の状態（心電図など）を観察しながら、具合が悪くなった状況や行った応急手当の内容などをお聞きします。落ち着いて答えます。

救急車が来るまで

- 応急手当**
消防職員が電話で指導します。落ち着いて出来る範囲の応急手当をしましょう。
- 容態の急変**
再度119番通報してください。
- 病院へ行く準備**
保険証やお薬（手帳）などの用意、家が留守になる場合は火の元の確認などをしてください。
- 救急隊の案内**
救急車の音が聞こえてきたら案内人が出せればお願いします。



表ページから

傷病者の状態・緊急度を判断

陸路

陸路

陸路



すべての機関が連携して、

地域の安心と安全を

守っています。

一分一秒でも早く！

救える命のもとへ救急車が到着できるように

救急車をタクシーのように使用するなど、安易な利用が増えると、本当に必要とされている方への対応が遅れてしまいます。救急車の適正利用をお願いします。

Fire Topics

注意

冬特有の事故にご用心



ヒートショック

急激な温度差により心筋梗塞や脳梗塞のリスクがあります。脱衣所での暖房器具の使用を！



ストーブ上可燃物

火災につながるため、ストーブの上部に洗濯物を干すのは絶対にやめましょう！



点検・交換

住宅用火災警報器は設置から10年経ったら取り替えましょう。日頃の点検もお忘れなく。



灯油漏洩

ホームタンクからの給油中は注ぎ口を見守りましょう。

冬を迎えると、当地域ではこの時季特有の事故が発生します。少しの油断や不注意でも、生命に関わる重大な事故につながる可能性があります。また、冬季に火災発生率が高まるのも当地域の特徴です。事故防止に加え、火の用心もお願いします。



無謀な雪山登山

バックカントリーは入山準備をしっかりと、撤退する勇気をもって！



流雪溝転落

転落防止のため、三角コーンの設置、落下防止格子は外さない。



投雪機巻き込み

投雪機の回転部分に手を入れる際は、必ずエンジンを停止しましょう。



除雪転落

シーズン最初に屋根に上がる際は、特にご注意ください。

予防

小学生防火標語

小学生防火標語表彰式



最優秀賞

「火は消した？
ぼくは家族の 消防士！」
津南小 桑原 想大さん (写真中央)

優秀賞

「消したかな
ぼくにもできる 火の用心」
水沢小 市村 遥斗さん (写真右)
代理受賞

「火は消した？
家族みんなの あいことば」
津南小 藤ノ木 夢斗さん (写真左)

新潟県消防協会十日町地区支会では、十日町市・津南町の小学四年生から防火標語を募集し、427点の応募の中から、最優秀賞・優秀賞を決定して、11月5日に消防本部にて表彰状を贈りました。選ばれた作品は、秋の火災予防運動の「防火短冊」に使用させていただきました。

赤色灯



左から、樋口泰範様、樋口久様

このほど、10月に十日町市中条地内で発生した住宅火災の現場において、人命救助に貢献をいただいた、樋口久様と樋口泰範様のお二方に、消防協力者として消防本部から感謝状を贈らせていただきました。お二方の功績は、火災で逃げ遅れた高齢女性が助けを求めている現場で、迅速で適切な連携した行動により、人命危険を免れたものです。また、この火災現場ではもう一つの奏功がありました。「住宅用火災警報器」です。火災に遭われたお宅には、住宅用火災警報器が条列基準どおりに設置されており、女性が火災であることに気づくことができました。これは、警報器の鳴動音でした。もしまだ設置をされていないお宅がございましたら、自分と家族の命を守る大切なパートナーとして、早期の設置をお願いします。 正一

消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田1-4-1 番地
編集 総務課企画広報係 ■電話 025(757)0119 ■FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-koukijip/ ■E-mail tfd119@tokamachi-koukijip